



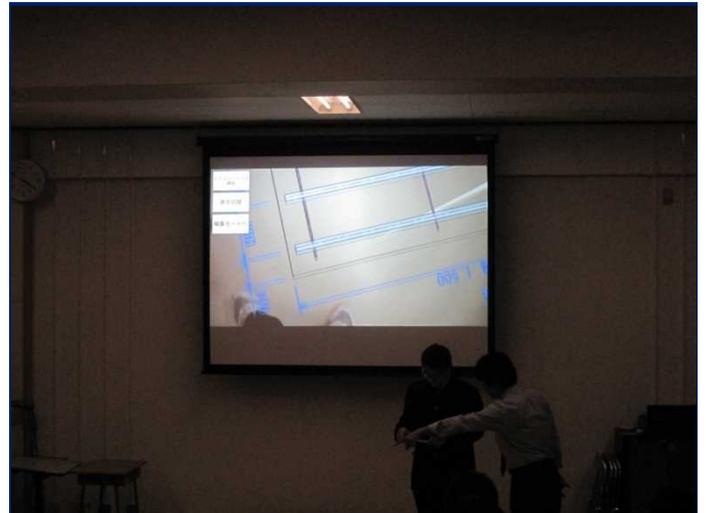
建築科建築設備コースで

「融雪技術」に関する講演会が行われました！

12月22日、本校視聴覚教室において建築科建築設備コース1年生を対象に講演会が行われました。ご講演は新潟県融雪技術協会様ご協力のもと「新潟県の融雪技術」というテーマで行われ、新潟県の雪に関する歴史や地中熱ヒートパイプ融雪システムなど、とてもわかりやすくご教示いただきました。これからSPHの内容が本格的に始動していくにあたり生徒にとって大変貴重な講話となりました。



手にアルコールを塗り、気化させて実際に肌の表面温度がどう変化したかサーモカメラで実験しているところです。



地中熱ヒートパイプ融雪システムの説明を受けているところです。MRデモを用いて、タブレットで写した教室の床にシステムが埋設されているような複合現実の世界を体験させていただきました。

【スキルアップシートより】

- ・地中熱を上手に利用することがこれからは大事になると思いました。
- ・ヒートパイプは地下水を使わないため、地盤沈下の恐れもなく省エネにも優れている最新技術。
- ・昔の雪の量に驚いた。新潟の冬と融雪には深い関係があることがわかりました。

【生徒の変容と身についた力】

- ・新潟の冬の歴史を学び、昔の苦勞が今日の融雪技術につながっていること知った。
- ・地中熱の利点を理解し、重要なエネルギーのひとつであることに気づいた。
- ・実際に使われている材料・技術に触れ工法や原理を具体的にイメージすることができた。

